

# 歌聲二様観客魅了



**田場・知名・大工「男三人会」**

沖縄民謡歌手の田場盛信、知名定男、大工哲弘によるライブ「男三人会」が7月23日、沖縄市民小劇場あじびなーであつた。3人が自身の持つ歌や地元の曲を40曲ずつ披露したほか、互いの曲を歌い合うコーナーもあり、客席を大いに盛り上げた。

(学習部・本村紫乃)

## H. 五いの曲歌う ■ 思い出話に笑い

④優しい歌声で観客を魅了した田場盛信(左)味わいのある歌聲を聴かせた知名定男(中)張りのある歌聲を聴かせた大工哲弘(右)沖縄市民小劇場あじびなー

トップバッターとして登場したのは田場。自身の「泣かひき牛」や「島情話」を歌唱。最後に歌つたにぎやかな楽曲「幸せ列島」では観客から自然と手拍子も湧き起つて、田場ならではの優しい歌声で観客を魅了した。

続く演者は八重山民謡の第一人者・大工。張りのある渋い歌声で地元・八重山の楽曲「鳩間節」「恋ぬ花」などを熱唱した。伴奏の筝は妻の大工草子が担当し、息の合つた演奏を聴かせた。

最後に舞台に立つた知名は自ら作詞作曲した「うんじゅが倩どう頼まる」や民謡「ひんすー尾類小」を丁寧に歌い上げた。曲の合間に曲の解説や民謡の先輩たちとの愉快な思い出話も挟み、会場の笑いを誘っていた。

知名が歌い終えた後、田場と大工も一緒に舞台へ。知名が八重山民謡の「アンサ一節」を、また大工は田場の大ヒット曲「島の女」を、さらには田場は知名の「おぼろ月」を歌い合つなど、互いに切磋琢磨してきた3人ならばこのライブを披露。飾らない軽快なトーンに会場が笑いに包まれる場面もあつた。

最後は会場一体となってカチヤシを踊り、にぎやかに幕を開じた。